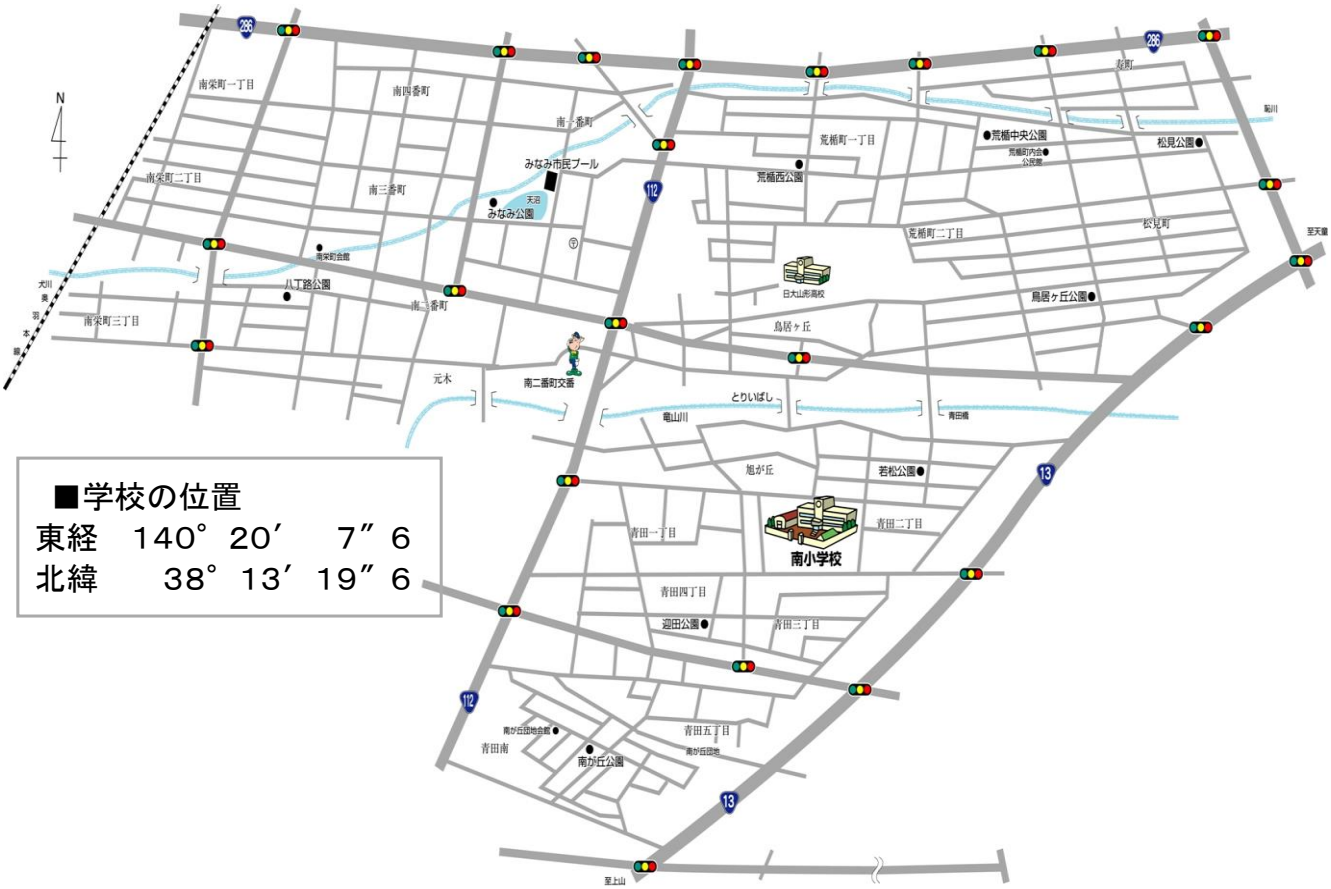
学区の概要



南小学区は、昭和４８年に六小学区であった南・南栄・鳥居ヶ丘・荒楯・松見・寿町と、滝山小学区であった青田・元木によって編成され、さらに昭和５１年に南ヶ丘住宅団地が加えられた。

平成３年４月より桜田小開校とともに元木が分離し、現在、南・南栄・鳥居ヶ丘・荒楯・松見・寿町・南ヶ丘・青田・旭が丘の町区で構成されている。

当学区は、昭和４０年頃から区画整理事業によって住宅地化した地区である。北側を国道２８６号線、　東側を山形バイパス（国道１３号線）、西側をJR奥羽本線に挟まれた一帯で、南北中央を産業通り（国道１１２号線）が走っている。

旧住居者が２００世帯くらいとすると、ほぼ２，６００世帯が新興居住者であるこのことからも学校の地域におかれた役割は大きいといえる。